



馬と船

相京晴次



馬と船は江戸時代の輸送の両横綱でありました。酒々井が成田街道の宿場町として栄えたことは一般に知られておりませう。

宿場は人が泊つたり、休んだりするばかりでなく、荷物や薪炭等の他の生活物資の宿継をする任務もありました。当時の道路は狭く、坂が多く、雨が降ればぬかるみとなって、山道同様でありましたから車は使えません。背負つたり、かついだり

するか、馬の背に乗せて運搬するほかはありませぬので現代では想像できない程の困難がありました。例をあげると、酒々井町(区)の石高は七七〇石余でありましたが、佐倉城主に納める年貢は約四〇パセントです。から三百石となります。これを俵に直すと約七五〇俵となります。この年貢を馬で運ぶと一駄二俵づけとして佐倉城の種、木御蔵まで運搬すると三百七十五往復することになります。酒々井から佐倉城までは約五キロ、一日二往復が精々です。年貢米を納めるだけでもこんな困難がありました。たので陸運では遠い所への運搬は出来ないので、川や沼のあるところは船運を利用しました。幸に酒々井町は印旛沼に面して、柏木、大鷲、中川、新坂河岸と港が作られて、江戸、鉾子、利根、川筋と高瀬舟を利用しての商業活動が行われ、積み込むことが出来たので、柏木に相京、大鷲、中川、大鷲、小坂、新兵衛、中川、木内、常三郎、新坂、鶴岡、造酒、右衛門などの酒屋が出来て繁栄したと伝

られています。

酒々井から江戸までの行程は十日あまりでありました。町史料集収録の島田家文書から船運の例をあげてみますよ。

御扶持米送状

一、御米三拾老儀式并、右之通り津玄候向着船ニ相成候ハ、改可被請取候依之送状如件

慶応四年辰年二月廿九日

嶋田幸右衛門殿

綿貫夏右衛門

右御米布施川岸向屋坂巻半平より別紙送り状運ちん安食川口帯り候共金走面式分相定、常川、鉾田捨五郎、船江積入三月六日酒々井川岸着ニ相成、久能、新橋江通運いたし、負目相改、不残引取、運ちん船主江相渡。

この文書は佐倉牧士嶋田幸右衛門(酒々井)藤崎半石衛門(久能)藤崎半之丞(久能)佐瀬為吉(新橋)の扶持米(給料)一年分を小金(松戸市)の讃賀夏右衛門から届けられたものです。布施(柏市)川岸から鉾田(茨城県)の常五郎の船に積んで利根川から安食を通り酒々井河岸へ七日目に着、船賃は走面式分であつたことわかり、この運賃は当時の米相場一石位に当り高い運賃となつていました。それでも陸送に比べれば安い運賃でありました。







# 郷土研行事案内

項目	七月	八月	九月
古書学習会	10日(土)午後/時30分 中央公民館	休	11日(土)午後/時30分 中央公民館
石仏調査	11日(日)午前9時 中央公民館前集合 雨天中止	29日(日)午前9時 中央公民館前集合 雨天中止	12日(日)午前9時 中央公民館前集合 雨天中止
史談会	17日(土)午後/時30分 中央公民館 テーマ酒々井町の民俗	21日(土)午後/時30分 中央公民館 テーマ酒々井町の民俗	18日(土)午後/時30分 中央公民館 テーマ酒々井町の民俗
野草の会	7月20日A班・22日B班 麻綿原高原・清澄山より徒歩往復8キロ 8時30分後場去巻 各35名 1200余 (雨天決行) 会ヒ1,000、中食代合ム	8月は 休	4日(土)午後/時 京成酒々井駅集合 志津方面観察会 雨天中止
文化財愛護活動	7月18日(日)午前9時青年研修所集合 午前中終了 上岩橋見層・カンカンムロの草刈り 当日雨天は7月25日(日)		
郷土史講座	7月24日(土)午後1時30分 中央公民館 「酒々井地方の古代文化」講師 町史編さん委員 北詰栄男氏 会員以外のおも 御誘い下さい		
県内史跡見学会	7月21日(火)A班 午前8時30分後場去巻 会ヒ1,000-中食代合ム 7月24日(金)B班 各先着35名つゝ 見学地 市川博物館-流山郷土館-十兵衛城-増尾城跡-日秀観音 ひまり		

## 新入会員の御紹介

- 314 岡野せん
- 315 渡辺節子
- 316 近田ト子
- 317 高橋清子
- 318 福田チカ
- 319 藤山勝以
- 320 椎名千代
- 321 長沢とみ子
- 322 福田芳江

## 会計報告

○ 山東も食べる会 4/24日  
 収入 会ヒ 500x64 = 32,000  
 支出 材料ヒ 20,000  
 差引 12,000 郷土研繰入金

○ 銚子方面見学会 A.B班 5月25日  
 収入 会ヒ A37x B35x 1,000x72 = 72,000  
 支出 バス代 800x2 = 1,600  
 料亭代 500x79 = 39,500  
 有料道路 40x2 = 80  
 飲食 100x80 = 8,000  
 湯沢温泉明料 500x2 = 1,000  
 計 74,000  
 不足 ¥2,300- 郷土研より補助

○ 深大寺方面見学会  
 収入 会ヒ 3,500x98 = 343,000  
 支出 バス代 3台 18,000  
 湯沢温泉 3000x3 = 9,000  
 有料道路 3台 1,250  
 計 371,250  
 差引 残 ¥4,500- 郷土研繰入金